

学長定例記者会見要項

日 時： 平成30年6月7日（木） 11：00～11：45

場 所： 法人本部第二会議室（小白川キャンパス法人本部棟4階）

発表事項

1. ひと足はやく大学生体験 夏休みの山大進学ウィーク開催
～中学生向けのオープンキャンパスも初開催！～
2. “どまんなか”に機能性成分の高蓄積を発見
～山形大学・県水田農業試験場との共同研究チーム、17品種を分析～
3. 山形大学の研究紹介：山形から考える！資料の資源化へのアプローチ
～歴史民俗資料の調査と活用～
4. 楽天イーグルスの広報・イベント企画に学生が参画
～実践力を身につける人文社会科学部の企業課題解決型実践演習の取り組み～
5. 人文社会科学部に安達峰一郎研究資料室を開設しました

お知らせ

1. ウェスタンデジタルジャパン小池淳義社長を招き学長特別講演会開催
2. 日本アンデス調査団60周年記念シンポジウム
「日本アンデス調査団と山形大学ナスカ・プロジェクト」を開催します
3. 「山形大学SCITAセンター夏休み自由研究サポート」を開催します
4. 山形大学・宮城教育大学・福島大学 3大学合同進学説明会を開催します
5. やまがた夜話の開催について

（参 考）

- 次回の学長定例記者会見（予定）

日 時：平成30年6月21日（木） 11：00～11：45

場 所：法人本部第二会議室（小白川キャンパス法人本部棟4階）

学長定例記者会見（6月7日）発表者

1. ひと足はやく大学生体験 夏休みの山大進学ウィーク開催

～中学生向けのオープンキャンパスも初開催！～

理事・副学長

おおば よしひろ
大場 好弘

2. “どまんなか”に機能性成分の高蓄積を発見

～山形大学・県水田農業試験場との共同研究チーム、17品種を分析～

学術研究院 准教授（バイオマス資源学）

わたなべ まさのり
渡辺 昌規

山形県農業総合研究センター土地利用型作物部長

ちゅうば まさる
中場 勝

3. 山形大学の研究紹介：山形から考える！資料の資源化へのアプローチ

～歴史民俗資料の調査と活用～

学術研究院 講師（歴史民俗資料学）

あべ たかひろ
阿部 宇洋

4. 楽天イーグルスの広報・イベント企画に学生が参画

～実践力を身につける人文社会科学部の企業課題解決型実践演習の取り組み～

人文社会科学部 経済・マネジメントコース2年

あびこ りな
安孫子 莉奈

//

やまざき こうた
山崎 絃汰

//

やまもと かつた
山本 嘉太

5. 人文社会科学部に安達峰一郎研究資料室を開設しました

学術研究院 准教授（国際法学／人文社会科学部担当）

まるやま まさみ
丸山 政己

学術研究院 教授（政治学／人文社会科学部担当）

きたがわ ただあき
北川 忠明

平成30年（2018年）6月7日

ひと足はやく大学生体験 夏休みの山大進学ウィーク開催 ～中学生向けのオープンキャンパスも初開催！～

【本件のポイント】

- 夏休み前半にあわせて、7月27日（金）～8月4日（土）に、中学生・高校生向けのイベントを開催する。
- 山形大学講義を受講したり、山形大学のキャンパス内を見学するなど、大学での学びや生活をひと足はやく体験できる。
- 昨今のキャリア教育の低年齢化にあわせ、中学生向けオープンキャンパス「ジュニアキャンパス」を初開催する。



【概要】

山形大学では、7月27日（金）～8月4日（土）に、中学生・高校生向けのイベントを開催します。

「アカデミックキャンプ」は、山形県内高校生を対象に平成27年度から実施しているもので、大学での学びを体験することで、「大学で学ぶ意義」を考え、「山形大学の魅力」を感じ、進路に対する意識の向上につなげることを目指すものです。定員30名程度の少人数での実施のため、密度の濃いカリキュラムになります。今年度は、山形大学の一年生が主に受講する「基盤共通教育」の人気授業を開講。山形大学ベストティーチャー賞を受賞した2名の教員と、元高等学校校長で現在は山形大学アドミッション担当の教員が担当します。

「オープンキャンパス」は、キャンパスごとに行われる毎年恒例のイベント。各学部説明や体験授業、施設見学、入試や大学生活に関する各種相談ができます。イベント満足度は90%以上。昨年度の来場者数は、4キャンパスあわせて約7,000人と、人気のイベントです。

また、今年度は初めて中学生を対象に「ジュニアキャンパス」を開催します。キャリア教育の低年齢化に伴い、本学への中学生による大学見学が年々増加傾向にある背景をふまえ、早い段階での高等教育機関への意識付けを目的に実施するものです。「大学進学する意義」や「自己理解を含めた将来設計」の講義のほか、学食体験や理科実験などを予定しています。

【イベント日程】

- 7月27日（金） アカデミックキャンプ
- 7月28日（土） オープンキャンパス 飯田キャンパス（医学部）
- 7月29日（日） オープンキャンパス 鶴岡キャンパス（農学部）
- 8月2日（木） ジュニアキャンパス
- 8月3日（金） オープンキャンパス 米沢キャンパス（工学部）
- 8月4日（土） オープンキャンパス 小白川キャンパス（人文社会科学部、地域教育文化学部、理学部）

お問い合わせ
山形大学エンrollment・マネジメント部 EM 企画課
TEL 023-628-4062、4063

【イベント内容】

①アカデミックキャンプ

- 日時： 7月27日(金) 10:30~16:10
 場所： 小白川キャンパス
 対象： 県内高校1・2年生
 定員： 先着30名程度
 内容： 山形大学の一年生が主に受講する「基盤共通教育」の人気授業
 ・スタートアップセミナー
 (ベストティーチャー新人賞受賞 橋爪孝夫准教授)
 ・キャリアデザインセミナー ~自分と向き合い、将来について考えてみよう~
 (ベストティーチャー賞受賞 松坂暢浩准教授)
 進路講演「未来学概論2018~Baby Steps to Giant Strides~」
 (元・高等学校長 鈴木晃彦教授)
 大学生の昼食体験
 申込： 6月下旬頃から、大学ホームページで受付



②オープンキャンパス

- 日程・場所： 7月28日(土) 飯田キャンパス(医学部)
 7月29日(日) 鶴岡キャンパス(農学部)
 8月3日(金) 米沢キャンパス(工学部)
 8月4日(土) 小白川キャンパス(人文社会科学部、地域教育文化学部、理学部)
 対象： 主に高校生を対象としていますが、どなたでもお越しいただけます
 定員： なし。ただし体験授業等、一部は定員あり。
 内容： キャンパスごとに各学部説明や体験授業、施設見学、各種相談。
 小白川キャンパス及び米沢キャンパスでは、保護者向け大学説明会も実施。
 申込： 不要。ただし体験授業等、一部は申込みが必要。6月下旬頃から大学ホームページで受付。



③ジュニアキャンパス

- 日時： 8月2日(木) 10:00~15:40
 場所： 小白川キャンパス
 対象： 中学2・3年生
 定員： 先着80名
 内容： 特別講義「自分の未来を考え抜け！」
 ・大学進学ってどういうこと？(門馬甲兒教授)
 ・自分を知り、将来を考える(松坂暢浩准教授)
 大学生の昼食体験
 キャンパスツアー
 理科実験教室
 申込： 6月中旬頃から、大学ホームページで受付



オープンキャンパス

キャンパスごとに各学部説明や体験授業、施設見学、各種相談ができます。
イベント満足度は約90%! 高校生を対象としていますが、どなたでもお越しいただけます。

7/28(土)

飯田キャンパス
医学部

7/29(日)

鶴岡キャンパス
農学部

8/3(金)

米沢キャンパス
工学部

8/4(土)

小白川キャンパス
人文社会科学部
地域教育文化学部・理学部

ジュニアキャンパス

今年度初開催! 中学生対象

8/2(木) 10:00~15:40

中学生二・三年生を対象に、大学進学のことや、
その先の将来について考えながら、
大学生活を体験するイベントです。

アカデミックキャンプ

山形県内高校生対象

7/27(金) 10:30~16:10

「大学での学び」をひと足はやく体感できます。
今年度は、山形大学の一年生が主に受講する
「基盤共通教育」の人気授業が開講!

夏休みの山大進学ウィーク

各イベントの
詳細・申込みは



山形大学 バーチャルオープンキャンパス

検索

<http://www.yamagata-u.ac.jp/enroll/>



本件に関するお問い合わせは…

山形大学エンrollment・マネジメント部EM企画課

tel 023-628-4063 fax 023-628-4144

mail enroll@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

山形大学と 出会う、夏。

2018年 中高生向けイベント次々続々!



山形大学
Yamagata University

開催日時

7/27 金

10:30~16:10
(受付10:00~)

山形大学と、 学ぶ夏。

山形大学 教員の指導のもと、「大学での学び」をひと足はやく体感できる1日です。

今年度は、「**なぜ学ぶか、どう学ぶか**」をテーマに、
進路講演と山形大学の一年生が主に受講する「**基盤共通教育**」で人気の講義を受講できます!

アカデミックキャンプ参加者募集!

 Yamagata University

ACADEMIC CAMP 2018 SUMMER

[なぜ学ぶか、どう学ぶか]

■なぜ学ぶか ~自分と向き合う~

【進路講演】



未来学概論2018
~Baby Steps to Giant Strides~
元 高等学校 校長
(鈴木晃彦教授)

「生きるとは、自分という人間を創っていくこと。すべての経験を、自分をより良い人間にするための栄養にできなければならない。高校時代の様々な経験もその一環」この視点をもって、**自分の生き方を俯瞰的に捉え、考え、未来の自分を創造してみませんか。**

【グループワーク(基盤共通教育 授業体験)】



キャリアデザイン
~自分と向き合い、
将来について考えてみよう~
山形大学
ベストティーチャー賞 受賞
(松坂暢浩准教授)

みなさん、将来大学で何を勉強し、卒業したらどのような仕事に就きたいですか? この授業では、**自分の得意なこと、目指したいこと、大切にしたいことは何かについて、立ち止まって、まず「自分らしさ」について一緒に考えていきます。**

■どう学ぶか ~大学での学び方~

【グループワーク(基盤共通教育 授業体験)】



スタートアップ
セミナー
山形大学
ベストティーチャー賞 新人賞 受賞
(橋爪孝夫准教授)

山形大学の新入生全員が受講する必修の授業です。大学ならではの**学びの「型」を身につける**という大きな役割を持っています。

対象

山形県内高校に通う
高校1・2年生

[定員に余裕がある場合、3年生も参加可能。
参加希望の方は、お問い合わせください。]

定員

先着30名程度

場所

小白川キャンパス

参加費

無料 [昼食は学食利用になります。
実費がかかります。]

申込方法

<6月18日(月)よりお申し込み開始>

山形大学バーチャルオープン
キャンパスより、お申し込み
ください。

QRコード▶



山形大学 バーチャルオープンキャンパス

検索

<http://www.yamagata-u.ac.jp/enroll/>

問合せ

山形大学
エンrollment・マネジメント部EM企画課
tel/023-628-4063 fax/023-628-4144
mail/enroll@jm.kj.yamagata-u.ac.jp



山形大学 オープン キャンパス 2018

イベント満足度
約90%!
(2017年度
参加者アンケート)

2017年度
来場者数
約7,000名!

夢への“ひとかけら”が
きつとここにある

内容 各学部説明・体験授業・実験体験・研究室紹介・
施設見学・入試相談コーナーなど

7/28(土)
[飯田キャンパス]
医学部
[お問合せ先]
飯田キャンパス事務部学務課
(入試担当)
TEL 023-628-5049

7/29(日)
[鶴岡キャンパス]
農学部
[お問合せ先]
鶴岡キャンパス事務室
(学務担当)
TEL 0235-28-2808

8/3(金)
[米沢キャンパス]
工学部
[お問合せ先]
米沢キャンパス事務部総務課
(広報室)
TEL 0238-26-3419

8/4(土)
[小白川キャンパス]
**人文社会科学部
地域教育文化学部
理学部**
[お問合せ先]
小白川キャンパス事務部総務課
TEL 023-628-4744

時間、内容等の詳細や申込受付は
6月下旬頃から公開・開始!

昨年の様子(動画)を配信中!

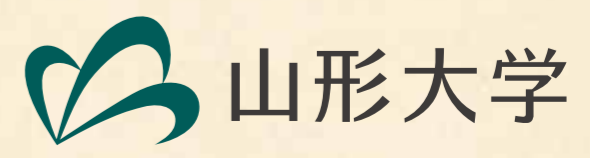
Yamagata University
山形大学
Virtual **Open Campus**

山形大学 バーチャルオープンキャンパス
<http://www.yamagata-u.ac.jp/enroll/>

検索



山形大学バーチャルオープンキャンパスとは... Web版オープンキャンパス。オープンキャンパス情報やキーワードに沿った大学説明、キャンパス風景動画など盛りだくさん。相談フォームもあります。お気軽にアクセスください。



中学生集會

山形大学ジュニアアクションパス2018開催



中学生のみなさんへ

どんな大人になりたいですか？

高校受験もまだなのに、

そんな先のことは、わからない？

でも、中学生の今から、

将来を見据えて、

自分を見つめてみませんか。

未来と向き合い、

山形大学を

学ぶ一日です。



8/2 **木** 10:00~15:40
(受付 9:30~)

場所

山形大学小白川キャンパス

[住所:山形県山形市小白川町1-4-12]

参加費

無料(昼食は別途実費がかかります)

対象

中学二年生・中学三年生

定員

80名(先着順・定員に達し次第締切)

内容

■特別講義「自分の未来を考え抜け！」

- ・大学進学ってどういうこと?(門馬教授)
- ・自分を知り、将来を考える(松坂准教授)

■大学生の昼食体験!

■キャンパスツアー

■理科実験教室

申込方法

山形大学バーチャルオープンキャンパスより、お申し込みください。

<http://www.yamagata-u.ac.jp/enroll/>

山形大学 バーチャルオープンキャンパス

検索

問合せ

山形大学
エンrollment・マネジメント部EM企画課
tel/023-628-4063 fax/023-628-4144
mail/enroll@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

平成30年（2018年）6月7日

“どまんなか”に機能性成分の高蓄積を発見 ～山形大学・県水田農業試験場との共同研究チーム、17品種を分析～

【本件のポイント】

- 機能性成分であるフィチン酸含量（糠中）が品種間で大きく異なることを山形大学農学部・県農業総合研究センター水田農業試験場の共同研究チームが初めて明らかにした。
- 中でも、県育成品種である“どまんなか”が機能性成分である高フィチン酸蓄積品種であることを発見した。
- 今後、フィチン酸の蓄積と米食味・物性との関係を明らかにするとともに、“どまんなか”の機能性米としての有効性を生かした商品開発が期待される。



【概要】

山形大学学術研究院 渡辺昌規准教授（バイオマス資源学）ら山形大学農学部と県農業総合研究センター水田農業試験場による共同研究チームは、機能性成分であるフィチン酸含量が米の品種間で大きく異なることを明らかにした。フィチン酸は有機リン化合物の一つで、米の胚乳のデンプン合成を安定化させる働きがあり、胚の育成に重要な成分であることが知られている。近年、アルツハイマー型認知症発症の予防効果（発症原因タンパク質であるアミロイドβペプチド(Aβ)の生成（プロセッシング）に関わるβセクターゼ（アスパラギン酸プロテアーゼ；BACE1）の阻害。参考文献1）、抗腫瘍作用（腫瘍性細胞成長阻害、NK細胞の活性化。参考文献2）が報告されており、機能性成分として認知されている。海外ではサプリメントとして広く販売されている。

共同研究チームは、平成26年度より4年間にわたり、主食米、酒米、糯米、多収米、飼料米を含む17品種の糠成分の分析を実施し、“どまんなか”が高フィチン酸蓄積品種であることを発見した（コシヒカリよりも3割多く含まれる）。さらには、系譜と糠中フィチン酸含量の関係について解析を進めた結果、“どまんなか”、“はえぬき”、“庄内29号”、“び系94号”の4品種は、高フィチン酸蓄積品種グループを形成することも判明した。

今後は、フィチン酸の蓄積と米食味・物性との関係を明らかにするとともに、“どまんなか”の機能性米としての有効性を生かしたサプリメント商品開発が期待される。

【背景】

山形大学農学部・県農林水産部連携推進協議会連携研究ユニット（本学農学部、県農業総合研究センター水田農業試験場）は、白米の食味・物性等の品質評価項目と糠等米由来成分の理化学試験結果との関連性を明らかにし、新規食味・物性評価用マーカーの構築を目指し平成26年度より「米の食味・物性評価マーカー（特定米糠成分）開発」に関する共同研究を進めてきた。

【研究手法・研究成果】

本共同研究では、県農業総合研究センター水田農業試験場は、同一条件下（同施肥条件、同一栽培区画）にて展示用米品種の栽培・収穫、各品種の生育・収量・食味に関するデータ取得を担当。山形大学農学部は試験場にて収穫された玄米の搗精（精米）、白米、米糠、リン成分の元素分析等の理化学的試験を実施し、蓄積したデータを解析した結果、品種間において米糠中フィチン酸含量が異なることを明らかにした。中でも、県育成品種である“どまんなか”が最も糠中にフィチン酸を蓄積する高フィチン酸蓄積品種であることを発見した。さらに、系譜と糠中フィチン酸含量の関係について解析を進めた結果、“どまんなか”、“はえぬき”、“庄内29号”、“び系94号”の4品種は、高フィチン酸蓄積品種グループを形成することも判明した。“どまんなか”、“はえぬき”、“庄内29号”は、“び系94号”の子品種・孫品種であることから、高フィチン酸蓄積の形質は“び系94号”を中心に遺伝的に伝わったと推測された。

【今後の展望】

フィチン酸の蓄積と米食味・物性との関係を明らかにするとともに、“どまんなか”の機能性米としての有効性を生かした商品開発にも取り組んでいきたい。

渡辺昌規准教授は、これまでに、精米機器メーカーとの共同研究により、脱脂米糠から高濃度のフィチン酸を含むリン成分およびタンパク質成分を連続的に回収するプロセスを開発し、平成 26 年には県内の米油製造会社との共同研究によりパイロットプラントを設置している。今後、県内の高フィチン酸含量の米糠を原料としたサプリメント等機能性食品の商品化を通じて、6 次産業化を推進していきたい。

※用語解説

1. どまんなか：1987 年に「山形 35 号」系統名が付され、1991 年に山形県奨励品種に採用された粳米。母が「イブキワセ」、父が「庄内 29 号」で山形県立農業試験場庄内支場（現山形県農業総合研究センター水田農業試験場）で育成され、特性は、熟期が“中生”で収量性があり、玄米品質が良く、良食味である。山形県が米どころの中心を担っていくとともにおいしさのどまんなかを突き抜ける味わいのあるお米というのが命名の由来。
2. フィチン酸：種子などの多くの植物に存在する有機リン化合物であり、リンの貯蔵形態である。正式名称は、myo-イノシトール-1, 2, 3, 4, 5, 6-六リン酸。

※参考文献

1. Abe, T et. al. (2014) Identification of myo-inositol hexakisphosphate(IP6) as a β -secretase 1 (BACE1) inhibitory molecule in rice grain extract and digest. FEBS open bio 4, 162-167.
2. C. H. Fox and M. Eberl (2002) Phytic acid (IP6), novel broad spectrum anti-neoplastic agent: a systematic review. Complementary Therapies in Medicine, 10, 229-234.

お問い合わせ

学術研究院准教授 渡辺昌規（バイオマス資源学／農学部担当）

TEL 0235-28-2848 メール mwata@tds1.tr.yamagata-u.ac.jp

山形大学の研究紹介

平成30年（2018年）6月7日

山形から考える！資料の資源化へのアプローチ ～歴史民俗資料の調査と活用～

【本件のポイント】

- 地域で廃棄、または売買されてしまう地域の資源を調査し、誰でも資料にアクセスできる環境を整える取り組みです。地域資料（歴史民俗）の何でも相談所的役割、研究です。
- 今までの調査では専門特化により日の目に当らなかった資料が多くありました。それらを全て調査することによって再発見、新発見した資料があります。また、調査した資料を誰でも読める形に整える作業を行っています。
- 歴史教育においても地方主体化が進んでいます。一方で、これらの資料を資源化する取り組みは遅れており、地域の大学、歴史民俗資料学者の使命にもなってきます。資料に裏付けされた歴史を活用することにより、より魅力的な地域資源（文化財）として活用が図られます。



【概要】

地域には、まだまだ沢山の歴史民俗資料が残っています。特に山形県は蔵をもつ家や作業小屋を所持する家などモノを保管する機能が比較的残っている現状にあります。しかし、近年、世代の入れ替わりにより、蔵や小屋をつぶす家が増えてきました。その結果、中に保管されていた、歴史資料や民俗資料はリサイクル業者に処分され、それらが市場に流通しています。これらの資料を廃棄、処分される前に調査もしくは処分されてから調査し、地域資源として活用できるような資料を保存する実務と、それらの資料に基づいた地域史の研究を行っています。

また失われつつある、技術を映像記録として保存し、断絶したとしても、状態を復帰できるような取り組みも同時に実施しています。

【背景】

全国的に大手オークションサイトやフリーマーケットサイトには多くの古文書、民俗資料が流通しています。山形県内の資料も同様に流通し、中には自治体の共有文書が販売されている時もあります。県立公文書館の未設置（※公文書センターは2015年に設置された）の問題もありますが、山形県の資料保存の多くは、各地域の博物館、図書館、そして山形大学が担ってきました。

しかしどの収蔵庫も収容キャパをオーバーし取捨選択もしくは、予算の都合から、地域の資料を収集できない状態に陥っています。また、県内の博物館、図書館の職員も専門の人材が少なく、地域の資料にあたる時間が非常に限られている現状でもあります。

そのため、それらの地域資料を、問い合わせがあれば調査し、研究し地域的価値、学術的価値を考察しています。また、今後それらの地域の資料を担うプロフェッショナル（学芸員、調査員、研究員）の育成が全国的に求められています。山形県でも同様です。

【研究手法・研究成果】

調査手法は、基本的に悉皆調査であり、古文書の場合は箱であれば箱ごと、棚に積んである状態であれば棚ごと資料差別をせず実施しています。そのため、調査は、時間がかかる作業です。また、専門分野的に詳細不明の資料が現れる場合もありますが、悉皆調査後、専門の先生に教示いただき、その資料の価値を考えます。価値を考える指標としては、各研究所、大学にあるデータベースの活用やその時代における資料の有無、学史研究を

実施し類推していきます。

多くは、デジタルカメラによる情報取得を中心とし（可能であればスキャニングなども）、その後目録の作成、必要があれば、本文の活字化を実施します。なかには修復が必要な資料も見つかることもあります。その際には、古文書の場合であれば、修復し、資料保存に耐えられるような状況にします。調査後の資料保全も考えながら調査を実施します。



【修復前】



【修復後】

近年実施した調査研究の中には、全国的にも希少な戦中資料の相次ぐ発見をしています。2015年、特高警察講義要項^(※1)、村山俊太郎逮捕の内状（楯岡警察署）、飯豊町添川村軍事郵便^(※2) 339点発見。2017年、飯豊町添川村軍事郵便資料集発刊。

また失われつつある、民俗技術を映像記録として保存し民俗資料として整備活用する試みも実施しています。2018年には、公益財団法人ポーラ伝統文化振興の助成を得て、無形民俗技術原方刺し子^(※3) DVDを発刊しました。

【今後の展望】

これらの調査は時間がかかり、非常に地道な作業であるものの、新発見、または、見つからなかったにしても後世へ記録として残すことが可能で、地域の資料の層を分厚くする面においては有効的です。決して、貴重な資料を目当てに調査している訳ではありません。たまたま、貴重な資料が出てくるのがほとんどです。

また、近年発見した特高警察講義要項（山形県唯一の資料、全国的にも珍しい）や飯豊町添川村軍事郵便（内地から戦地への手紙として）は日本で初の資料でもあり、今後もこのような「山形から（当時の日本を）考える」資料の発見が期待されます。

結果として、新しい地域の歴史認識と歴史構築、確固たる資料をもとにした学校教育、観光利用などが可能になることで、山形県の魅力の再認識、再発見につながります。

※用語解説

1. 特高警察講義要項：第二次大戦中に活動した、思想犯などを取り締まる為の専門機関が利用したマニュアル本。中には、村山俊太郎事件の詳細や天皇直属の機関であることを明記した三綱領などが記載されている。楯岡警察署（現村山警察署）の特高課の人間が所持し保管していたもの。昭和16年(1941年)の記載あり。
2. 軍事郵便：明治以降に成立した郵便制度の一つ。兵士の戦意高揚を目的とし、近況などを伝え合ったもの。第二次大戦時には広く使用された。戦地に送られた郵便は、基本的に持ち帰ることができなかったため、家族が兵士に送った手紙は日本国内にまとまって残っている事例は少ない。一方で、兵士が送った郵便は戦火に見合わなかった地域では多く残っている。飯豊町の資料は昭和14年(1939年)～19年(1944年)までの生活風景が記載されている。
3. 原方刺し子：米沢藩に古くからある刺し子。原方衆を中心に花雑巾という名称で作られた、またはそれらをつくる技術。

お問い合わせ（メールアドレスの★は@に置き換えて下さい）
学術研究院 講師（歴史民俗資料学） 阿部 宇洋（あべ たかひろ）
TEL 023-628-4514 メール taka.abe★cc.yamagata-u.ac.jp

平成30年（2018年）6月7日

楽天イーグルスの広報・イベント企画に学生が参画

～実践力を身につける人文社会科学部の企業課題解決型実践演習※の取り組み～

【本件のポイント】

- 企業課題の解決策を考案・実行することにより、学生は「実践力」を身につけることができる。
- 企業活動の一部を経験することにより、学生は今後のキャリアプランをより明確に考えることができる。
- 広報やイベント企画の活動を通じて、学生は「観客増員」という企業課題の解決に貢献することができる。



【概要】

山形大学人文社会科学部では、「企業課題解決型実践演習 a (楽天)」という科目を平成 29 年度から開講しています。本演習では、企業が抱える課題やその解決策を学生が主体的に検討・提案し、また実施することを通じて、学生が実践力を身につけ、ビジネスへの理解・関心を深めることを目的としています。本年度は、7月10日にきらやかスタジアムで開催される、楽天ゴールデンイーグルス対オリックスバファローズの一軍公式戦の集客を増やすことを具体的な課題とし、株式会社楽天野球団のご協力の下、学生は試合当日の広報・イベント企画などに参画しています。

【学生が企画し実現する予定のイベント】

本演習では、企業が抱える課題やその解決策を学生が主体的に検討・提案し、また実施することを通じて、学生が実践力を身につけ、ビジネスへの理解・関心を深めることを目的としています。昨年度はイースタンリーグ（二軍）公式戦の集客を増やすという課題に取り組み、縁日をイメージしたイベントなどを企画・運営しました。

今年度は、一軍公式戦（楽天ゴールデンイーグルス対オリックスバファローズ戦）の集客を増やすことを課題に、学生たちが下記のイベントを企画し、実施に向けた取り組みを進めています。

- Instagram, twitterなどのSNSへの投稿による飲食店の割引
- マスコットキャラクターと一緒に写真を撮れる撮影ブースの設置 等

【試合日程等】

日時：平成30年7月10日（火）18:00 試合開始

場所：きらやかスタジアム（山形市総合スポーツセンター野球場）

チケット：

席種	前売り価格	特別価格
内野指定1塁側B席	3,000円（子ども1,500円）	2,000円（子ども1,000円）
外野自由席	1,500円（子ども1,000円）	1,000円（子ども600円）

※ 企業課題解決型実践演習：企業が抱える問題を学生の視点から解決策の提案および実施により、企画力・分析力などの実践力を身につけることを目的とした授業。

お問い合わせ
学術研究院

准教授 溜川 健一（人文社会科学部主担当） 電話 023-628-4295

准教授 坂本 直樹（人文社会科学部主担当） 電話 023-628-4255

平成30年（2018年）6月7日

人文社会科学部に安達峰一郎研究資料室を開設しました

【本件のポイント】

- 人文社会科学部附属やまがた地域社会研究所のなかに安達峰一郎研究資料室を開設
- 安達峰一郎（1869年～1934年）とは、山形県山辺町出身で、明治から昭和初期にかけて外交官、国際裁判官、国際法学者として活躍した日本が誇るべき人物
- 山形大学に研究資料室を設置することを通じて、安達峰一郎に関する学術研究が一層進められていくための拠点形成を目指す。



山辺町教育委員会
(安達峰一郎博士顕彰会)提供

【概要】

山形大学は、山形出身の安達峰一郎について青少年期の精神形成時代、外交官としての活動、国際連盟における活動、常設国際司法裁判所裁判官としての活動などの総合的な研究を推進するために2012年11月から2017年3月にかけて一大研究プロジェクトを企画しました。しかし、研究はまだ緒についたばかりです。そこで、同プロジェクトを引き継ぎ、より幅広く人文・社会科学を専門とする教員が研究を進めていくための拠点づくりを目指して、人文社会科学部附属やまがた地域社会研究所のなかに安達峰一郎研究資料室を設置しました。膨大に残されている安達峰一郎に関する資料の整理・保存を進めていくと同時に、日本各地で行われている研究との連携をはかっていきます。また、研究資料室のホームページを通じて、様々な研究などに関する情報を発信していく予定です。

【研究資料室設置の背景】

山形大学は、山形出身の安達峰一郎について青少年期の精神形成時代、外交官としての活動、国際連盟における活動、常設国際司法裁判所裁判官としての活動などの総合的な研究を推進するために2012年11月から2017年3月にかけて一大研究プロジェクトを企画しました。そして、総勢10名の国際法・外交史研究者による共同研究の成果として、『安達峰一郎—日本の外交官から世界の裁判官へ—』（柳原正治・篠原初枝編著、東京大学出版会、2017年）を刊行しました。「安達峰一郎研究資料室」は、この成果を継承し、より幅広く人文・社会科学を専門とする教員が安達峰一郎研究を進めていくための拠点づくりを目指して設置するものです。

【研究資料室の現在の活動と今後の展望】

研究資料室では、関連資料の整理・保存を主な活動の目的としていますが、その他にも様々な作業を進めています。例えば、（公財）安達峰一郎記念財団に残されている駐仏当時大使館関係ファイルの翻訳作業を他大学の研究者とともに進めています。また、山辺町安達峰一郎博士顕彰会と協力して、同会編『国際法にもとづく平和と正義を求めた安達峰一郎—書簡を中心として—』（2011年出版）の改訂作業を行っています。ほかに、科学研究費基盤（B）（柳原正治代表）と連携して、安達峰一郎研究を進めています。これらの作業を通じて、さらなる研究の進展が期待されます。さらに、やまがた地域社会研究所の目指す、地域が保有する資源や資料を調査・分析し、地域の魅力の再発見や地域創生に貢献することにもなるものと思われれます。

なお、次世代教育の一環として、中高生や大学生向けのコラムも作成中です。

お問い合わせ（メールアドレスの★は@に置き換えて下さい）
学術研究院准教授 丸山 政己（国際法学/人文社会科学部主担当）
TEL 023-628-4737 メール maruyama★human.kj.yamagata-u.ac.jp
学術研究院教授 北川 忠明（政治学/人文社会科学部主担当）
TEL 023-628-4748 メール kitagawa★human.kj.yamagata-u.ac.jp

平成30年6月7日
山形大学

* 詳細は別添の資料をご覧ください。

1. ウェスタンデジタルジャパン小池淳義社長を招き学長特別講演会開催

山形大学の3つの使命「地域創生」「次世代形成」「多文化共生」を発信するため、シリーズで開催している学長特別講演会の第12回目の開催が決定しました。講師に、ウェスタンデジタルジャパン小池淳義（こいけ あつよし）社長をお迎えし、米沢キャンパスで初めて実施します。

テーマ：IoT・大量データ・人工知能そしてその先にあるものーシンギュラリティは近い

日時：平成30年7月9日（月）16：30～18：00

場所：山形大学米沢キャンパス

※参加無料（要申込）

2. 日本アンデス調査団60周年記念シンポジウム

「日本アンデス調査団と山形大学ナスカ・プロジェクト」を開催します

現在、日本人研究者を中心とする多くの考古学プロジェクトがペルー各地で実施されており、国際的にも高い評価を得ています。とりわけ山形大学によるナスカ・プロジェクトでは新しい地上絵の発見をはじめとする数々の重要な成果がありました。シンポジウムでは、現地に設立したナスカ研究所を拠点とする同プロジェクトの最新成果についても報告します。

日時：6月23日（土）13：00～16：30

場所：人文社会科学部1号館3F301教室

※参加無料（申込不要、先着200名）

3. 「山形大学SCITAセンター夏休み自由研究サポート」を開催します

SCITAセンターでは、毎年、夏休みに小学生の自由研究をサポートする活動を行っています。学生スタッフが自由研究のテーマ決定から実際の実験・調査の手法やまとめ方、発表の方法まで指導します。

開催日程：7月31日（火）～8月3日（金）10：00～16：00

場所：山形大学SCITAセンター

応募締切：6月22日（金）※募集人数を超えた場合は抽選

4. 山形大学・宮城教育大学・福島大学 3大学合同進学説明会を開催します

山形大学、宮城教育大学、福島大学の3大学が合同で進学説明会を開催します。高等学校等の先生方や保護者の方のご来場も歓迎します。

日時：7月1日（日）13：00～16：00

場所：仙台国際センター3F 白樺

※事前申込不要

※裏面に続く

5. やまがた夜話の開催について

大学コンソーシアムやまがたでは、それぞれの得意分野で活躍している第一人者の方からお話ししていただく「やまがた夜話」を開催しています。

7月は「医師の眼から見た、誰も知らない『シンガポール・ベトナム・香港』」をテーマに医師の八幡芳和氏を講師に3回にわたってお話しします。

平成30年（2018年）6月7日

ウェスタンデジタルジャパン小池淳義社長を招き学長特別講演会

【本件のポイント】

- 山形大学の3つの使命「地域創生」「次世代形成」「多文化共生」を発信するため、シリーズで開催している学長特別講演会の第12回目。米沢で初開催。
- 講師はウェスタンデジタルジャパン小池淳義（こいけ あつよし）社長。
- 技術革新によって世界との距離が縮まる中での日本人の役割や、世界的視野をもって今後の人類と機械の新しい関係を創造していくリーダーについて考える。



【概要】

山形大学では、3つの使命「地域創生」「次世代形成」「多文化共生」を発信するため、学長特別講演会をシリーズで開催しています。各界で活躍している著名人を講師に、「山形から世界に通用する技術やプロダクト・学術研究をどんどん生み出そう。そして、山形を元気にして地方創生につなげよう。」というコンセプトのもと、平成27年(2015年)度から開催しているもので、今回で12回目。講師には、ウェスタンデジタルジャパン小池淳義（こいけ あつよし）社長をお迎えします。「IoT・大量データ・人工知能そしてその先にあるもの—シンギュラリティは近い」というテーマで、技術革新によって世界との距離が縮まる中での日本人の役割や、世界的視野をもって今後の人類と機械の新しい関係を創造していくリーダーについて考えます。米沢キャンパスでは初めての開催です。

【第12回学長特別講演会】

テーマ：IoT・大量データ・人工知能そしてその先にあるもの—シンギュラリティは近い
日時：平成30年7月9日（月）16:30~18:00
場所：山形大学米沢キャンパス 4号館中示範A教室 ※参加無料（要申込）

【講師プロフィール】

小池 淳義（こいけ あつよし）

ウェスタンデジタルジャパン・プレジデント

ウェスタンデジタルコーポレーション メモリー開発・生産技術担当シニアバイスプレジデント

半導体業界に30年以上従事し、日立製作所、トレセンティテクノロジーズ、ルネサステクノロジ、ウェスタンデジタルにて半導体製造技術のイノベーションをけん引。トレセンティテクノロジーズ時代には、枚葉処理を特長とする世界初の大型ウェーハ半導体工場を実現。現在、最先端のフラッシュメモリーの研究開発および生産を統括。早稲田大学で理工学の学士号および修士号、東北大学大学院にて工学研究科電子工学専攻・工学博士号取得。技術とリーダーシップに関する講演を全国各地で行い、東京大学、東北大学、一橋大学で講師も務める。

【過去の開催状況】 <https://www.yamagata-u.ac.jp/jp/university/president/lecture/>

- 第11回（H30.4.16）藤本隆宏氏（東京大学ものづくり経営研究センター長・東京大学大学院経済学研究科教授）
- 第10回（H29.11.6）グレン・S・フクシマ氏（米国先端政策研究所上級研究員）
- 第9回（H29.10.25）加藤 宏 氏（独立行政法人国際協力機構(JICA)理事）
- 第8回（H29.6.29）赤阪清隆氏（公益財団法人フォーリン・プレスセンター理事長、元国連事務次長）
- 第7回（H29.1.17）竹内佐和子氏（文部科学省顧問、前パリ日本文化会館館長）
- 第6回（H28.10.11）石川博紳氏（三井物産株式会社顧問）
- 第5回（H28.7.11）丸 幸弘氏（株式会社リバネス代表取締役 CEO） ※役職は当時のものです。

詳細はホームページ
をご覧ください。



お問い合わせ

総務部広報室（菅井）

TEL 023-628-4008

メール koho@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

学長特別講演会

米 沢
キャンパス
初開催

IoT・大量データ・人工知能 そしてその先にあるもの

— シンギュラリティは近い

講 師

小池 淳義 氏

ウエスタンデジタルジャパン・プレジデント
ウエスタンデジタルコーポレーション
メモリー開発・生産技術担当シニアバイスプレジデント

日 時

平成30年7月9日(月) 16:30～18:00

会 場

工学部4号館中示範A教室

講師よりメッセージ

技術革新が世界の距離を益々縮めており、日本人の役割をもう一度考える必要がある。一方、IoTにより日々生成されるデータ発生量は激増し、人工知能によるデータ活用が急激に進歩し、機械の役割が新たな段階に入ってきた。この先、あらゆる技術の進歩は益々加速されるであろう。30年後に技術的シンギュラリティが来ると予想されている。あなたは準備ができているだろうか？シンギュラリティの時代にあって世界的視野をもち、今後の人類と機械の新しい関係を創造していくリーダーについて考えたい。



お申込
メールは
こちらから



米沢キャンパスへの
アクセスは
こちらから

入場無料

※事前申込が必要です

対 象

学生(高校生・大学生)・一般

同 会

山形大学特任教授 土井正己

プログラム

16:30 開会挨拶(山形大学長 小山清人)

16:40 講 演

17:30 ディスカッション(小池氏 x 小山学長)

18:00 閉 会

お申込み・お問い合わせ



総務部広報室 TEL. 023-628-4008
www.yamagata-u.ac.jp

第 12 回講演

IoT・大量データ・人工知能 そしてその先にあるもの ー シンギュラリティは近い



山形大学 学長特別 講演会

山形大学では
地域創生・次世代形成・
多文化共生の3つを使命として
掲げ、改革を推進しています

「山形から世界に通用する技術やプロダクト・学術研究をどんどん生み出そう。そして、山形を元気にして地域創生につなげよう」というコンセプトを広く発信し、定着させるため、学生、教職員、高校生、一般市民を対象とした学長主催の特別講演会を定期的に開催しています。

講師

ウエスタンデジタルジャパン・プレジデント
ウエスタンデジタルコーポレーション
メモリー開発・生産技術担当シニアバイスプレジデント

小池 淳義 氏

講師プロフィール

半導体業界に30年以上従事し、日立製作所、トレセンティテクノロジーズ、ルネサステクノロジ、ウエスタンデジタルにて半導体製造技術のイノベーションをけん引。トレセンティテクノロジーズ時代には、枚葉処理を特長とする世界初の大型ウェーハ半導体工場を実現。現在、最先端のフラッシュメモリーの研究開発および生産を統括。早稲田大学で理工学の学士号および修士号、東北大学大学院にて工学研究科電子工学専攻・工学博士号取得。技術とリーダーシップに関する講演を全国各地で行い、東京大学、東北大学、一橋大学で講師も務める。

司会

土井 正己 山形大学特任教授

会場へのアクセス

山形大学米沢キャンパス（米沢市城南4丁目3-16）

◆ JR 米沢駅から ◆

- ・南西へ約3km（徒歩約40分）
- ・市内路線バス「白布温泉」行きで「城南二丁目」下車（所要時間約11分）そこから徒歩約3分
- ・市街地循環バス右回りで「山大正門」下車（所要時間約15分）

◆ JR 南米沢駅（米坂線）から ◆

- ・北西へ約500m（徒歩約5分）

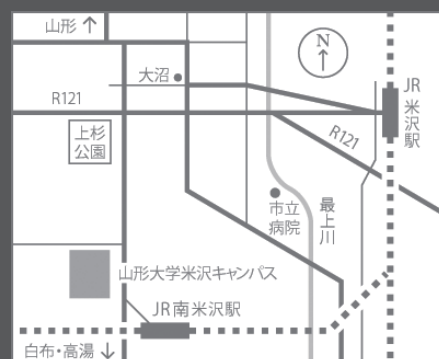
申込方法

氏名（ふりがな）、年齢、所属（会社・学校・学年・学部・学科など）、電話番号をご記入の上、メールでお申込み下さい。

メール送信先

山形大学広報室 koho@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

▼米沢キャンパス周辺地図



▼申込メールの作成はこ





日本アンデス調査60周年記念シンポジウム

日本アンデス調査団と 山形大学ナスカ・プロジェクト



2018年 **6月23日** [土] 13:00 ▶ 16:30

開催
場所

山形大学 人文社会科学部 1号館
3階 301教室

● 一般公開 (参加無料 / 申し込み不要 / 定員200名 [先着順])



O山形駅東口より東方約2キロO山形駅東口より徒歩約25分O山形駅東口より県庁行きバスで約5分…南高前(山大入口)下車10分O仙台駅より山形行き高速バスで約60分 南高前(山大入口)下車10分 ※山形～仙台間の高速バスは平日80便、土日・祝日66便運行しています。

主催 / 山形大学 共催 / 国立民族学博物館

協力 / 古代アメリカ学会、山形大学ナスカ研究所、アンデス文明研究会、一般社団法人 希有の会、埼玉県ペルー友好協会



コトシュ遺跡の交差した手のレリーフ写真
東京大学アンデス調査団(1960年)

日本アンデス調査60周年記念シンポジウム

日本アンデス調査団と山形大学ナスカ・プロジェクト

1958年に日本人によるアンデス考古学調査が開始されてから、今年で60年目を迎えます。現在、日本人研究者を中心とする多くの考古学プロジェクトがペルー各地で実施され、その成果は国際的にも大きな評価を得ています。とりわけ、2004年に開始された山形大学によるナスカ・プロジェクトでは、新しい地上絵の発見、発掘調査によるナスカ社会の解明など、数々の重要な成果がありました。さらに2012年には、ペルー共和国ナスカ市に山形大学ナスカ研究所が開設され、研究・教育・地上絵保護の拠点となっています。このシンポジウムでは、同プロジェクトの最新成果についてもご報告いたします。

プログラム

- 13:00~13:05 シンポジウム趣旨説明 井口 欣也(埼玉大学)
- 13:05~13:20 「日本アンデス調査の60年とこれから」 大貫 良夫(野外民族博物館リトルワールド館長・東京大学名誉教授)
- 13:20~13:45 「日本のアンデス調査の継承と発展-パコバンバ遺跡の発掘」 関 雄二(国立民族学博物館)
- 13:45~14:25 「日本調査団の歴史と山形大学ナスカ・プロジェクト」 坂井 正人・山本 陸・松本 剛(山形大学)
-休憩-(14:25~14:35)
- 14:35~15:50 「山形大学ナスカ・プロジェクトの研究成果とナスカ研究所」
・研究成果発表①「ナスカ地域におけるミドルホライズンの展開」 松本 雄一(山形大学)
・研究成果発表②「ナスカ地域における古食性調査」 瀧上 舞(山形大学)
・研究成果発表③「ナスカの地上絵はどこまで解明されたのか」 坂井 正人(山形大学)
・質疑応答
-休憩-(15:50~16:00)
- 16:00~16:10 報告「山形大学のアンデス諸国における教育活動-世界展開力事業による活動の紹介を中心に-」 土井 正樹(山形大学)
- 16:10~16:20 「山形大学ナスカ・プロジェクトへのコメント」 青山 和夫(茨城大学)
- 16:20~16:30 総括コメント 加藤 泰建(埼玉大学名誉教授)

平成30年（2018年）6月7日

「山形大学SCITAセンター夏休み自由研究サポート」を開催

【本件のポイント】

- 小学生の夏休みに課題として出される自由研究を学生がサポートします。
- どんなことを研究すればいいのかという相談から、どんな方法で実験をすればいいのか、まとめ方はどうしたらいいのか、といった悩みの解決方法を学生スタッフが一緒に考えていきます。
- 山形大学SCITAセンター学生スタッフは全部で約60名今回は約10名のスタッフでお手伝いします。



【概要】

山形大学 SCITA センターでは、山形大学 SCITA センター学生スタッフとして所属する約 60 名の学生たちが、地域のイベントで理科実験を行うなど、科学を通じた地域との交流を積極的に行っています。

毎年、夏休みには小学生の自由研究をサポートする活動を行っており、学生スタッフが小学生の自由研究のテーマ決定から実際の実験・調査の手法やまとめ方、発表の方法まで指導して科学の楽しさ、不思議さを伝えます。昨年度は、5 日間で延べ 56 人の小学生のサポートを行いました。今年の開催は、7 月 31 日（火）～8 月 3 日（金）の 4 日間。期間中は、学生スタッフ約 10 人が指導にあたります。

【講座内容】

- 開催日時 : 平成30年7月31日（火）～8月3日（金）10時～16時頃
開催場所 : 山形大学 SCITA センター（山形市小白川町一丁目4-12 山形大学小白川キャンパス）
講座内容 : 参加者と山形大学 SCITA センター学生スタッフが相談しながらテーマ設定、実験手法。調査方法を探りながら、研究発表ができるまで指導します。

【申込方法等】 チラシ裏面の申込書により6月22日（金）までに申し込んで下さい。

（各日定員5名～10名／応募多数の場合抽選）

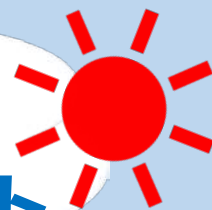
受講料 無料

※ SCITA センターは、理科学習の普及活動を促進するための本学独自の「やまがた未来科学プロジェクト」に基づき、科学的思考能力を備えた将来の山形あるいは日本を支える人材を育成する目的で設置されました。小学生から大人まで、全県民を対象に開催する体験型の科学実験教室プログラムが提供できる施設として、毎年、小学生から高校生、教員研修等で約4,000人の方に利用いただいております

お問い合わせ
山形大学 SCITA センター（棚井）
電話 023-628-4517

山形大学 SCITA センター

夏休み自由研究サポート



日程 :平成 30 年 7 月 31日(火)~8 月 3 日(金)

時間 :10:00~16:00 参加料 :**無料**

(午前の部:10:00~12:00、午後の部:13:00~16:00)

場所 :山形大学小白川キャンパス SCITA センター

(山形市小白川町一丁目 4-12 理学部棟 1 号館)

内容 :自由研究のテーマ決定や実験調査の手法・およびまとめ方などのサポートを山形大学 SCITA センター学生スタッフがを行います。

応募方法 :必要事項をお書きの上、郵送・FAX・メールのいずれかでご応募ください。

申込締め切り:平成 30 年 6 月 22 日(金)

募集人数

7/31(火)	8/1(水)	8/2(木)	8/3(金)
10名	5名	6名	9名

※募集人数を超えた場合は、抽選を行います。

~昨年参加したお子さんの研究テーマ~

- 🍷 最強のシャボン玉を作りたい!
- 🍷 鉱物の調査をしたい!
- 🍷 ジュースの中で一番ビタミン C が入っているのは? うがい薬で調べてみよう!
- 🍷 こすると消えるボールペンのひみつを知りたい!
- 🍷 虹ってどうしてできるの?

などなど... 😊



夏休み自由研究サポート 申込書

	フリガナ	
参加者氏名①		
	年齢 才	学年 年生
	性別 男 ・ 女	

	フリガナ	
参加者氏名②		
	年齢 才	学年 年生
	性別 男 ・ 女	

	フリガナ
保護者氏名	
住所	〒 - - - - -
mail	
TEL (緊急連絡先)	

●個人情報 は 厳重に 管理し、山形大学 SCITA センター夏休み自由研究サポート 以外の目的では 使用いたしません。

●兄弟で参加希望の際は、参加者氏名②の欄をご利用ください。

●参加希望日時：第1希望には①を、同様に第2希望・第3希望まで数字をお書きください。

	7/31(火)	8/1(水)	8/2(木)	8/3(金)
午前の部				
午後の部				
全日参加				

※定員人数を超えた場合は抽選を行い、抽選の結果は7月上旬にメールにてお知らせ致します。

※全日参加の方は昼食を各自ご持参ください。

●ご要望等ありましたら、こちらにお書きください。例) お友達の〇〇さんと一緒に参加したいので、同じ日時に入れてほしい。

--

申込先

〒990-8560 山形市小白川1丁目4-12 山形大学 SCITA センター

TEL・FAX：(023) 628-4517

E-mail：scita_staff@sci.kj.yamagata-u.ac.jp

HP：<http://www.yamagata-u.ac.jp/scita/> 担当：中川・齋藤

平成30年（2018年）6月7日

山形大学・宮城教育大学・福島大学 3大学合同進学説明会を開催します

【本件のポイント】

- 南東北の国立3大学が一堂に会し、それぞれ最新の「入試」「教育」「学生サポート」等の情報を発信します。各大学の特徴や入試科目等が比較でき志望校選択に役立ちます。
- 各大学とも在学学生への質問コーナーを設けます。大学の授業の面白さ（高校との違い）、キャンパスライフの他、受験勉強対策など気軽に相談できます。
- センター試験（英語）のリスニング体験コーナーを設けます。事前に体験することで、センター試験当日、慌てることなく受験に臨めます。



【概要】

山形大学は、宮城教育大学、福島大学と合同で、高校生、保護者、高校教員らを対象とした進学説明会を開催します。南東北の国立3大学が一堂に会し、それぞれ最新の「入試」「教育」「学生サポート」等の情報を発信しますので、各大学の特徴や入試科目等が比較でき志望校選択に役立ちます。また、それぞれの大学で、在学学生の質問コーナーを設置します。現役学生が大学の授業の面白さをはじめ、キャンパスライフや受験対策など、高校生の疑問に学生目線で答えます。高校生にとって身近な存在である在学学生が対応しますので、気軽に相談が可能です。さらには、センター試験（英語）で実際に使われているリスニング機器を試すことができる体験コーナーも設けます。

【山形大学・宮城教育大学・福島大学3大学合同進学説明会】

- 日 時：平成30年7月1日（日）13：00～16：00
（入退室自由。お好きな時間にお越しください。）
- 場 所：仙台国際センター 3F「白樫（しらかし）」
（〒980-0856 仙台市青葉区青葉山無番地）
- 対 象：高校生、保護者、高校教員
- 内 容：①大学説明会（各大学が順番でプレゼンします。）
②個別相談会（各大学の教職員が入試等の相談に応じます。）
③大学生への質問コーナー
④センター試験（英語）のリスニング機器体験
⑤入試案内、大学案内など最新情報を配付
- 申 込：不要



お問い合わせ
山形大学エンrollment・マネジメント部 EM企画課
TEL 023-628-4063



POINT 1

「学生相談コーナー」
があります!

各大学の在学生在
みなさまの悩みを学生の
視点で答えてくれます!

POINT 2

各大学の資料を
多数取り揃えて
おります!

POINT 3

センター試験の
英語で使用する
リスニング機器を
体験できます!



大学合同 進学説明会

7/1

平成30年

時間
13:00~16:00

仙台国際センター 3F 白檣

〒980-0856 仙台市青葉区青葉山無番地

自家用車でお越しの方

有料地下駐車場をご利用いただけますが、数に限りがございますので、できるだけ公共の交通機関(仙台市営地下鉄など)をご利用ください。

仙台駅より地下鉄でお越しの方

▶乗車…東西線八木山動物公園行きにお乗りください。

▶下車…「国際センター駅」でお降りください。

【会場1】:「白檣」内
「大学説明会」 13:00~15:45

開会の挨拶 13:00~13:05

① 13:05~13:30 宮城教育大学

② 13:30~13:55 福島大学

③ 13:55~14:20 山形大学

④ 14:30~14:55 宮城教育大学

⑤ 14:55~15:20 福島大学

⑥ 15:20~15:45 山形大学

※第一部と第二部は同一内容です。

【会場2】:「白檣」内
「個別相談会」 13:00~16:00

事前申込不要

直接ご来場
ください。

高等学校等の先生方、保護者のみなさまのご来場も歓迎いたします。
近隣のみなさまは是非ともご来場し、3大学の情報や資料を入手してください。

詳しくは各大学ホームページをご覧ください。

◎宮城教育大学 <http://www.miyakyo-u.ac.jp/> ◎福島大学 <http://www.fukushima-u.ac.jp/> ◎山形大学 <http://www.yamagata-u.ac.jp/>

平成30年7月

やまがた夜話

医師の眼から見た、誰も知らない
「シンガポール・ベトナム・香港」

山形大学医学部附属病院、米沢市立病院の医師として多くの臨床経験をされてきた八幡先生。今年米沢栄養大学を退職され、また臨床の場に戻られました。その先生に、独特の語り口で、またお話をさせていただきます。



7月 4日 (水) シンガポール

7月18日 (水) ベトナム

7月25日 (水) 香港



※時間はいずれも18:30 ~ 19:30 です。

講師 八幡 芳和 氏

(元山形県立米沢栄養大学教授、
山形ロイヤル病院内科医師)

会場 ゆうキャンパス・ステーション
(山形むらさきさわビル1階)

アクセス 山形駅東口より徒歩1分

対象 高校生・学生・一般市民

お申し込み 電話又はチラシ裏面の参加
申込書に必要事項を記入の
上Fax、郵送、メール等でお
申し込みください。

定員:50名

入場無料

主催

大学コンソーシアムやまがた

お申込み・お問合せ

〒990-0039 山形市香澄町1-3-15 山形むらさきさわビル1階
TEL:023-628-4842 FAX:023-628-4820
E-mail:unicon@jm.kj.yamagata-u.ac.jp



大学コンソーシアムやまがた



FAX:023-628-4820

大学コンソーシアムやまがた事務局 行き

やまがた夜話に参加申込みをします。

必要事項を明記の上、FAX・郵送またはE-mailにてお申込ください。

申込締切日:各開催日の前々日までにお申込をお願いいたします。

参加日	参加希望日に☑、又は日付を○で囲んでください。 <input type="checkbox"/> 平成30年 7月 4日(水) 講師: 八幡 芳和 氏 <input type="checkbox"/> 平成30年 7月18日(水) 講師: 八幡 芳和 氏 <input type="checkbox"/> 平成30年 7月25日(水) 講師: 八幡 芳和 氏
住所	〒
氏名	
連絡先	TEL
	E-mail
所属	

受講申込者が多数の場合は、お手数ですが参加申込書をコピーしてご利用ください。

この申込書にご記入いただいた情報は、今回の講座を受講するために必要な事務連絡等に使用すると共に、参加者名簿の作成にのみ使用させていただきます。

【お申込み・お問合せ先】

大学コンソーシアムやまがた ゆうキャンパス・ステーション

〒990-0039 山形市香澄町1-3-15 山形むらさきさわビル1階

TEL:023-628-4842 FAX:023-628-4820 E-mail:unicon@jm.kj.yamagata-u.ac.jp